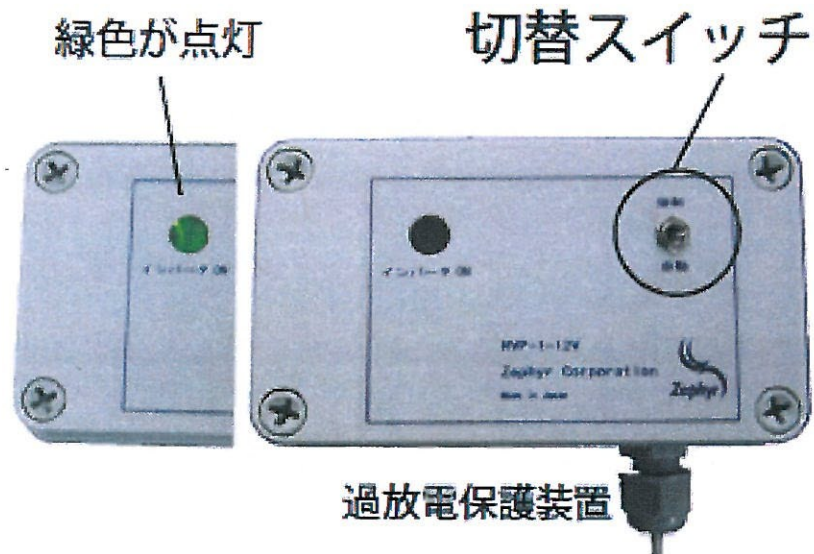


## 過放電保護装置詳細② (PV自家発電システム取扱説明書P10)



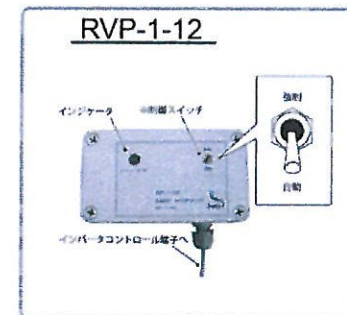
過放電保護装置

### 9. 過放電保護装置 RVP-1-12

バッテリーを保護するために過放電時とその復帰時のインバータをコントロールします。また、災害などの非常時に強制的にインバータを起動させる装置です。

#### 特長

- 過放電保護  
バッテリー保護のため過放電状態になるとインバータを停止させ太陽電池からの充電モードにします。
- インバータの復帰  
バッテリーへの充電を維持し、バッテリー電圧が 13.4V を 30 秒以上継続すると出力が復帰します。
- インバータの強制ON  
災害などの非常時に、過放電保護を作動させずにインバータの最低稼働電圧まで動作します。



仕様	
型番	RVP-1-12
動作電圧	12V
最大許容入力電圧	48V
インバータ復帰電圧	13.4 ± 0.2V
過放電保護電圧	12.0 ± 0.2V

○制御スイッチ インバータ出力を制御します。

「自動」側の時 過放電状態になるとインバータからの出力を停止します。インバータは負荷使用時にバッテリー電圧が 30 秒間連続して 12.0V 以下になると過放電を検知し AC アウトレットからの出力を遮断します。また、シャットダウン後にバッテリーへの充電を維持し、バッテリー電圧が 13.4V を 30 秒以上継続すると出力が復帰します。

「強制」側の時 災害などの非常時に、過放電保護を作動させずに強制的にインバータを作動させます。

○インジケータ インバータ動作中は制御スイッチ側のインジケータが緑点灯します。

- ◇ 過放電保護装置 RVP-1-12 を「強制」で使用する場合、インバータは負荷使用時にバッテリー電圧が低下してもバッテリーの電力がなくなるまで電源を供給します。過放電はバッテリーの寿命を短命にします。過放電にならないよう負荷の使用が終わったら速やかに制御スイッチを「強制」から「自動」に手動で変更して下さい。